

戦略見直しの背景

○生物多様性損失の直接的な要因への対処に加えて、間接要因となる**社会経済活動への対応**が重要（IPBES報告書）

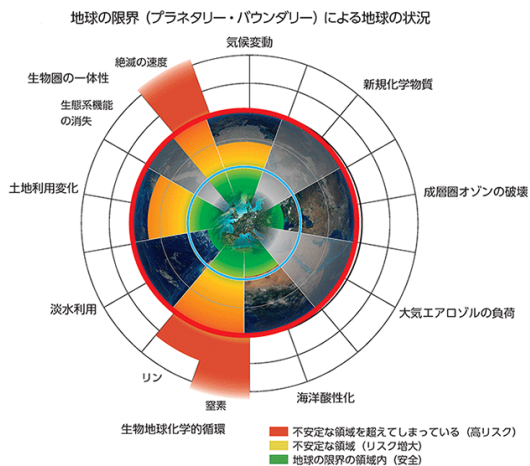
○**新型コロナウイルス感染症**の発生と拡大

○**みどりの食料システム戦略**（21.5）

○**ビジネスと生物多様性**の関係性が強まる（G7「2030自然協約」、TNFD発足）



生物多様性条約COP15第2部
新たな世界目標となる「ポスト2020生物多様性枠組」が採択予定



見直しのポイント

みどりの食料システム戦略、食料・農業・農村基本計画、森林・林業基本計画、水産基本計画等と整合性をとり、関連施策を一体的に実施するよう、以下を記載。

- 生物多様性保全の重要性が認識され、各主体の行動に反映されるよう**サプライチェーン全体**で取り組む
- 農林水産業や農山漁村が生物多様性に与える正負の影響について、生産現場を支える**農林漁業者の理解**を促す
- 日々の暮らしにおいて生物多様性に配慮した商品やサービスを選択してもらえるよう、**消費者の行動変容**を促す
- 企業が本業において自然資本のリスクと機会を分析して意思決定に取り込むことを促し、**ESG投融資の拡大**に導く
- **気候変動と生物多様性**の対策にはシナジーとトレードオフがあることから、環境課題に対する**一体的な取組**を目指す

戦略の主な内容

（地球環境） 環境課題を一体的にとらえ、国内外の**多様な主体と協働**で問題解決に取り組む

（農業） 生物多様性保全をより重視した**農業生産及び田園地域や里地里山の整備・保全**

（森林・林業） 森林の有する多面的機能の発揮に向けた**適切な森林の整備**

（水産） **海洋環境の保全・再生と水産資源の適切な管理**

（野生生物） **里地里山や森林の適切な整備**と農林水産業や生態系等への**被害防止対策**

（資源循環） 生物多様性に配慮した**調達、流通、消費及び資源循環の構築**

（理解の醸成） 生物多様性の**理解の醸成と行動変容の促進**（情報発信、ESG投融資拡大等）

（農林水産空間） 豊かな自然環境や生物多様性保全、良好な景観形成等**多面的機能の発揮**

（遺伝資源） 貴重な遺伝資源の**収集と持続的な利用**

（研究・評価） 生物多様性の保全・再生の取組が果たす**効果の見える化**

（実施体制） **サプライチェーン全体**に対して「農林水産省生物多様性戦略」の実施を促す

